
若葉区里山サイクリング便り

わかば33カ所巡り～第十回 下田緑陰サイクリング～

緑の多い若葉区、「下田」の周辺に行く

2014/08/14

暑い季節にふさわしい「緑陰サイクリング」の2つ目です。

緑に恵まれた若葉区にある木陰の道を通ります。暑さを避けつつ、暑い夏をアクティブに楽しめるサイクリング。ぜひトライしてみてください。

今回のルート検討にあたり、暑い時期のサイクリングであることを考慮して、現地まで車で移動して、そこを起点・終点とするようにしました（起点・終点には駐車場があります）。

【ルートの概要】

「下田農業ふれあい館」～下田町～谷当町～旦谷町～「下田農業ふれあい館」

道案内

今回は各写真の下に道案内を記しています。



写真は県道 66 号から見た「下田農業ふれあい館」。右側に駐車場がある。



「下田農業ふれあい館」の前を通る県道66号を南に進むと上掲の案内板がある。この案内板の先にある下田交差点を「八街・佐倉」方向へ左折。



下田交差点を左に折れると、前方の緑が目飛び込んでくる。すぐ前方に見える最初の三差路を再び左に折れる。



左折すると前方に「下田米麦乾燥調整施設」が見える。道なりに右に折れて進む。



右に折れると道の右側に青色のネットが続く。りんご園である。（下田町）



りんご園の先にはキウイフルーツ園がある。道なりに進む。（下田町）



キウイフルーツ園の先で林の中に入り、道なりに進むと、広い道にでる。その広い道を横断して進む。



広い道を横断するとすぐ先でT字路に突き当たる。そこを左折して集落の中の坂道を下りてゆく。



坂道を下りてゆくとT字路に突き当たるので、右に折れて坂道を下って行く。



坂道を下り、道は平坦になる。道なりに進み、道がやや「く」の字に曲がる当たりにある、最初の左に入る道を左折する。



左折して集落の中を曲折して進むと、前方に田んぼが広がるT字路に突き当たるので、そこを左折する。



田んぼの縁の道を少し行くと道は二又に分岐する。左の木陰の道に行く。



この道を進むと、下田町から谷当町に入る。T字路に突き当たったら右折し、ゆるやかに左にカーブする道を道なりに進む。途中、左に「谷当工房」がある。



「谷当工房」を通り過ぎ、間もなく、十字路に出る。

【注意】やや交通量が多く、しかも見通しが悪い道との交差点である。ここでは必ずいったん停止して安全を確認する。



交差点を直進すると間もなく道は二又に分れる。左の道を進む。右は田んぼの中を直進する道。



左の道を行くと、左前方に木々に覆われた姥嶽神社がある。

手前左に入る道を少し行くと、右の上の方に写真のような社殿が見える。

境内には「谷当町と姥嶽神社」の歴史を記した石板があり、郷土史を知ることができる。



さて、神社に寄り途したらもとの道に戻る。

少し行くと右手に「千葉市塵芥污水处理場」が見える。そのすぐ先の道を右に入り、田んぼの縁の木陰を道なりに進む。

眼前の水田の向うの丘の上には、塔が見える。四街道市坂戸にあるDIC（株）総合研究所である。



田んぼの縁の道はやがて右へ向かう道との交差点に出る。ここは右に向かわずに直進する。



少し行くと左の丘へ上る道との交差点に出る。そこを上って道なりに進む。



丘の上の畑道をしばらく進むと、木立の中に入り、三差路に至る。

右には放置され錆びついた白いベンツが見える。この三差路を左に行く。

【注】三差路を直進しても、やがて、白幡神社の先で、左折して進む道と合流する。



集落の中の道を道なりに進む。お盆の時期なので、門先には盆提灯が飾られている。

曲折する坂を下り、再び上る。木立の中を少し行くと、右に白幡神社が見える。

さらに進むと広い道に出たら右折する。やがて県道66号に突き当たったら左折する。

県道66号を進み、谷当交差点で左折する。少し行くと左手に「下田農業ふれあい館」が見える。

【注意】県道66号は交通量が多く、この辺りでは道幅が狭く、カーブして見通しが悪いので、自転車は安全のために必ず、車道とガードレールで仕切られた歩道の側に行くこと。